

外国語学部ドイツ学科主催講演会

共催：共同研究「ボローニャプロセス以後の欧米を中心とした大学
制度の変貌と新しい学問状況」



○ 日 時 : 2010 年 5 月 22 日(土) 15:15～16:45

○ 場 所 : 名古屋キャンパス J棟 5 階J55 教室

○ テーマ : Männer als Verlierer, Frauen als Gewinner?

—Der Diskurs um Japans Konsum-Unterschichten

— 負け組としての男性、勝ち組としての女性？

日本の消費社会における下層階級についての考察 —

○ 報告者 : Prof. Dr. Annette Schad-Seifert

(Dusseldorf 大学 現代日本学講座教授)

多数の御参加ありがとうございました。

共同研究「ボローニャプロセス以後の欧米を中心とした大学制度の
変貌と新しい学問状況」 2010 年度第 1 回研究会

○ 日 時 : 2010 年 6 月 26 日(土) 13:00~15:00

○ 場 所 : 名古屋キャンパス 第 1 研究棟 4F 会議室(415 号室)

○ テーマ : バイオテクノロジーと尊厳概念の日欧比較

○ 報告者 : 加藤 泰史氏

(南山大学外国語学部教授)

南山大学地域研究センター共同研究「ボローニャプロセス以後の欧米
を中心とした大学制度の変貌と新しい学問状況」主催ワークショップ
共催：外国語学部ドイツ学科 協賛：ドイツ応用倫理学会

- 日 時 : 2010 年 7 月 24 日(土) 13:00～18:40
-
- 場 所 : 名古屋キャンパス J棟 3F J32 教室
-
- テーマ : ドイツにおける脳神経倫理学の現状
-
- 報告者 : 提題者:香川 智晶氏 (山梨大学教授)
「香川智晶著『命は誰のものか?』(ディスカヴァー
21)について」
提題者:ヤン・クリストフ・ブブリッツ氏(ハンブルグ大学)
「思考は自由か? 心的な自己決定権について」
提題者:ダヴィニア・タルボット氏(ミュンスター大学)
「ニューロエンハンスメントをめぐる議論の現状」
-
- コメンテーター: 高畑 祐人(名古屋大学)
岩佐 宣明(愛知県立大学)
宮本 敬子(名城大学)
ギブソン・松井佳子(加田外語大学)
別所 良美(名古屋市立大学)
松田 純(静岡大学)
-
- 通 訳 : 中澤 武(早稲田大学)
大河内 泰樹(一ツ橋大学)
-

多数の御参加ありがとうございました。

南山大学地域研究センター共同研究『ポローニャプロセス以後の欧米を
中心とした大学制度の変貌と新しい学問状況』、ヨーロッパ研究センター
共催研究会



小林 道太郎氏(左)



渋谷 治美氏



別所良美氏 ギブソン松井佳子氏



会場の様子

○ 日 時 : 2010 年 9 月 18 日(土) 13:00～18:40

○ 場 所 : 名古屋キャンパス J棟 1 階特別合同研究室(Pルーム)

○ 報 告 : ①「ドイツのバイオポリティックス—幹細胞法をめぐる—」

小林道太郎氏(大阪医科大学講師)

②「国立大学法人の現状と課題—埼玉大学の事例を中心に—」

渋谷治美氏(埼玉大学教授(副学長))

○コメンテータ: ①別所良美(名古屋市立大学)

②ギブソン・松井佳子(神田外語大学)

多数の御参加ありがとうございました。

地域研究センター共同研究主催、
ヨーロッパ研究センター、外国語学部ドイツ学科共催
研究会 「生命倫理学の諸問題」



(左) 松田 純氏



(右) 加藤 泰史氏



小林 道太郎氏

○ 日 時 : 2011 年 1 月 8 日(土) 13:00～15:50

○ 場 所 : 名古屋キャンパス J 棟1階特別合同研究室(P ルーム)

○ 報 告 : 「人間の尊厳と日本の伝統的な生命観」
松田 純 氏 (静岡大学 教授)
「カントにおける尊厳の発見的用法」
加藤 泰史 氏 (南山大学 教授)
「日本の ES 細胞研究ガイドラインとその背景」
小林 道太郎 氏 (大阪医科大学 講師)

○ コメンテータ : 別所 良美 氏 (名古屋市立大学 教授)
高畑 祐人 氏 (名古屋大学 非常勤講師)
福光 瑞江 氏 (京都学園大学 非常勤講師)

多数の御参加ありがとうございました。